

令和2年度授業改善プラン

- (取り組み内容)
- ・毎学期の終わり、自分の担当(各学年ごとに項目だてて)の授業に関して作成する。
 - ・本年度の自己の研修課題に関連し、自己の授業を分析し課題を見いだす。
 - ・見いだされた課題に対し改善プランを立て、指導方法の工夫・改善を図る。
 - ・学期の終わりに検証を行い、来学期につなげていく。

教科名 (**美術科**) 教科担任名

★教科・観点について

学力向上のための調査・期末テストび学期の学習状況、生徒の授業アンケートをもとに分析し記入する。〈○成果 ▲課題〉

観点	1学期			2学期			3学期
	学年	課題分析	具体的な改善策	学年	課題分析(授業改善・プランの1次評価)	2学期終了後の具体的な改善策	改善プランの評価・来年度にむけて
美術への関心 意欲・態度	1年	○意欲的に臨む生徒が大半であり、落ち着いて取り組んでいる。 ▲わずかながら忘れ物をする生徒がおり、決まった生徒が繰り返すことも珍しくない。	・係や担任との連絡を密にし、本人への声かけを徹底する。	1年			
	2年	○授業回数を気にしながら、計画的に進めようとする生徒が増えた。 ▲意欲的な生徒とそうでない生徒の差が激しく、忘れ物や授業中の居眠りが目立つ生徒が決まっている。	・係や担任との連絡を密にし、本人への声かけを徹底する。	2年			
	3年	○計画的に制作する生徒が多く、学習態度は非常に良い。▲周囲の様子に流されてなんとなく取り組んでいる生徒も少なからずいるので、そういった生徒の目的意識を明確にし、取り組む姿勢の向上を図りたい。	・取り組む意義や何を学ぶかを明確にし、目的意識をもたせて意欲の向上を図る。	3年			
発想や構想の能力	1年	○基本的な取り組みはできており、生徒によっては創意工夫をしようとする姿勢が見られる。 ▲周囲に合わせる様子が見られるので、自分なりに制作しようとする意欲を育てたい。	・発想、構想の手立てを明確にし、工夫する面白さを経験しながら能力の育成を目指す。	1年			
	2年	○個々の関心があるものと結び付けて、創意工夫する生徒が増えた。 ▲惰性で取り組む様子や、他のアイデアを写そうとする生徒がおり、創意工夫する意欲が低い生徒がいる。	・個々の関心や取り組みやすい制作方法などを紹介し、苦手な生徒でも取り組みやすい題材や指導方法を今一度研究する。	2年			
	3年	○創意工夫する姿勢に大変好感もてる。質問も多く、充実した授業が行える。 ▲意欲的なのは良いが、より高度な構想に挑戦する生徒は少なく、自分の力量で取り組みやすいものしか作らない。	・向上心の育成を目指し、評価の基準や工夫の仕方、力量に合わせた作品の魅せ方などを指導する。	3年			
創造的な技能	1年	○丁寧に取り組む様子が見られ、基本に充実に制作しているので、継続させたい。 ▲もっと創意工夫してもいいと感じるので、様々な取り組み方に挑戦してほしい。	・参考作品を見せながら、工夫の仕方やその方法を明確にすることで、向上心を育成する	1年			
	2年	○決められた条件の中で工夫する生徒が多く、高い技能をもつ生徒もいることで全体的に技能が向上している。 ▲計画したものの、授業時間との兼ね合いで途中で難易度を下げてしまう生徒が多く、計画性が乏しいことが難点である。	・計画性を意識させ、見直しをもった制作を行うことで、限られた時間の中で自分なりに工夫して計画的に制作する能力を育てる。	2年			
	3年	○個々の力量をふまえて取り組んでおり、高度な作品も数多く見られ、他の生徒の刺激になっている。 ▲難易度の高いものに挑戦しようとする生徒に限られている。	・個人指導の中で、生徒の力量に合わせた手立てを提案し、自分なりにより良い作品にするよう働きかける。	3年			
鑑賞の能力	1年	○鑑賞する観点を指導することで、男女分け隔てなく作品を鑑賞する姿勢ができています。 ▲鑑賞するだけで、見たものを自分の制作につなげようとする様子はまだ見られない。	・鑑賞から得られるものや、何を学んでほしいかを今後の授業で確認していく。	1年			
	2年	○鑑賞の観点は身に付きつつあるので、自分の言葉でその良さを伝えられるようになってきている。 ▲適当に取り組む生徒が目立つので、学ぶ意義を今一度確認させたい。	・見るだけでなく、自分のことに置き換えて捉えるよう指導し、次にどう生かすかをしていく。	2年			
	3年	○作品を鑑賞する力、見た物から学ぶ力が身に付いてきたことで、表現の幅が広がっている。 ▲いまだに見方がわからず、いい加減にしている生徒がいる。	・見るだけでなく、自分のことに置き換えて捉えるよう指導し、次にどう生かすかをしていく。	3年			
授業改善の検証方法	・毎時間の振り返りを行い、生徒の目的意識を明確にさせる。 ・ICT機器の積極的な活用						
研修課題(キャリア教育に関連した教科としての取組)	研修課題に対する教科としての具体的な実践方法			1学期の結果を踏まえた具体的な実践方法及び追加内容	2学期までの成果と課題	1年間の成果と今後の課題	
・和菓子ラボ (人を思う心を育てる)	・伝統的な和菓子制作を題材に、対象者の立場に立って、どうすれば喜んでもらえるか、何を伝えたいかをテーマにオリジナルの和菓子を制作する。						